

新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への配慮等

試験場における感染拡大を防止し、受験者自身が安心して受験できる環境を確保するため、以下の事項を要請いたします。

(1) 自主検温

試験日の7日前程度前から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

(2) 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

(3) 受験できない者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方は受験できません。発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者※については、一定の条件のもと、受験できる場合がありますので、事前に連絡してください。

※濃厚接触者とは、保健所より「濃厚接触者に該当する」と伝えられた方のほか、過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した方を指します。

(4) 試験当日における対応

- ・ 発熱・咳等の症状のある受験者は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。
- ・ 症状の有無にかかわらず、各自マスク（白・淡色無地の不織布マスクを推奨）を持参し、試験場では常に着用し、待機時間等における他者との接触、会話を極力控えてください。ただし、本人確認及び面接実施時にマスクをはずすよう指示する場合があります。
- ・ 使用済マスク等を収納するビニール袋を必ず持参するようにしてください。
- ・ 本学では試験監督者及び試験場係員もマスクを着用します。

(5) 試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があります。

(6) 試験当日は試験場に消毒液を設置しますので、試験室への入退室の際、各自手指消毒を行ってください。また、使用済マスクや鼻をかんだ後のティッシュ等は、必ずビニール袋に入れ密閉してゴミ箱に捨ててください。

(7) 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを推奨します。

(8) 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

(9) 上記(3)の受験できない者に該当する場合や試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合速やかに都市デザイン学部事務室(TEL 076-445-6698)に連絡してください。また、試験終了後、14日以内に体調不良が認められた場合は同事務室まで連絡してください。

(10) 試験当日は、付添者控室は設置しません。

(11) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)をダウンロードしておくことが望ましいです。なお、アプリから通知を受けたことにより直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。